

おととからだであそぼう特別編

第2回

新井英夫さんと学ぶ 野口体操 & 体奏講座

「からだをほぐす」と「地域課題をほぐす」



野口体操は東京芸大名誉教授野口三千三氏(1914～1998)が考案しました。自然から学びからだをゆるめほぐしながら、楽で気持ちのいい動きの感覚を各々が創造していく身体メソッドです。最後の弟子の世代である新井氏は「体奏家」と名乗り、野口体操に即興ダンス・音楽・美術等の要素を自由に絡めた独自のワークショップ「ほぐす・つながる・つくる」をつくり各地で展開してきました。その対象は乳幼児から高齢者までバリアフリーに、実施場所は劇場・学校・福祉施設・病院・子ども食堂等(可児市文化創造センターalaアール、障害福祉施設カブカブひかりが丘等)多岐に渡っています。近年はファシリテーターの養成にも携わっています。

2022年進行性難病 ALS(筋萎縮性側索硬化症)の確定診断を受け(現在電動車椅子ではあるもの)、多忙な日々を送る新井氏は「動けなくなって、野口体操からますます学ぶことが多い…」と語っています。表現する前、踊るの前の普段のからだを(ココロもアタマもふくめ)丁寧にゆるめほぐすことから、東京と鳥取を繋いだオンライン講座を開催します。ミニシンポジウムはオンラインということで県外の方もご参加いただけます。

対面
開催

実践編

ふれあうことから始まる野口体操

野口体操の中でもマッサージなど人に接するものを中心に。身体性に着目して、人の身体に触れる機会を作りましょう。

日時 2024年 **1月24日**(水)18:30-20:00

場所 鳥取大学地域学部附属芸術文化センターアートプラザ

定員 20名 料金 無料(要申込)

講師(オンライン出演) 新井英夫 板坂記代子 西村雅洋

鳥取会場で対面でのみ開催します。
オンライン配信はありません。
2人組で行うワークを中心にします。
講師はオンラインで指導しますが、
参加者は会場に集まり受講してください。



オンライン
開催

ミニシンポジウム

オドることは生きること。～地域課題をアートでほぐす

西川さん、新井さんと板坂さんに共助の実践例を伺いながら、公的支援を待つのではなく、自分達で今できること、仲間を増やしていく方法を考えます。互いに自立しながら、緩やかに助け合う関係性の作り方のコツを学びましょう。

日時 2024年 **2月23日**(金祝)14:00-17:00

場所 zoomによるオンライン

(グルーブトークなど顔・音声を出してお話できる環境でご参加ください)

主配信場所は鳥取大学地域学部附属芸術文化センターアートプラザ

定員 100名 料金 無料(要申込)

コメンテーター 新井英夫 板坂記代子

特別ゲスト 西川正

進行(モデレーター) 木野彩子



内容

- 第1部 『遊びが生まれる場所』を自分たちで自分たちのマチにつくりだすには…?
- 第2部 グループトーク
- 第3部 まとめとシェアリング

お申し込み方法 グーグルフォームに必要事項を記入してください。



<https://forms.gle/nWU3McATPSn84QrG7>

主催 鳥取大学地域学部舞踊・身体表現研究室 後援 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

プロフィール



新井英夫 (あらい ひでお)

体奏家・ダンスアーティスト。1966年埼玉県生まれ東京在住。自然にならい力を抜く身体メソッド「野口体操」を創始者より学び深い影響を受ける。投げ銭方式の十五夜野外劇など、劇場からマチに出るユニークな劇団活動主宰を経て、のち独学でダンスへ。国内外での公演多数。舞台活動との両輪として、乳幼児から高齢者まで障害の有無に関わらず幅広い対象に向けた「ほぐす・つながる・つくる」表現とコミュニケーションのワークショップを教育・福祉・社会包摂等に関わる現場で実施している。2022年夏に進行性神経性難病ALS(筋萎縮性側索硬化症)の確定的診断を受ける。現在、病と向き合いつつ「不自由の中の自由」を模索しながら”当事者”と”支援者”の両域の視座から新たな活動や発信を継続中。



板坂記代子 (いたさか きよこ)

身体表現者・美術家。山形県出身東京在住。2006年新井英夫の野口体操と体奏に出会い、2010年より共に舞台公演活動とワークショップを実施中。「くらしを実験ととらえ自分でつくる」をテーマに美術制作・手しごと研究を行いつつ、「即興」をベースにした身体表現に関わる。「てきとう手しごと工房」主宰。2022、23年度岐阜県可児市文化創造センターalaアールでの社会包摂プログラム「手と手であそぶ」担当。多世代が集い「手で何かをつくる」ことを通して緩やかにつながる「居場所」づくりを展開中。



西川正 (にしかわ ただし)

コミュニティワーカー。1967年滋賀県生まれ。学童保育、出版社、障害者団体、NPO支援センターなどの勤務を経て2005年にNPO法人ハンズ・オン埼玉を設立。元恵泉女学園大学特任准教授。2022年4月より真庭市中央図書館館長を兼務。趣味は「かぶりもの」の作成と道端に七輪を置いて遊ぶこと。著作に『あそびの生まれる場所—「お客様」時代の公共マネジメント』(2017,ころから,2019年度生協総合研究所特別賞受賞)『あそびの生まれるとき—「お客様」時代の地域活動コーディネーション』(2023,ころから)がある。

1/24開催 実践編 会場MAP



鳥取大学地域学部棟アートプラザ
鳥取市湖山町南4丁目101

主催:鳥取大学地域学部舞踊・身体表現研究室
後援:鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
協力:わらべ館

助成:令和5年度鳥取大学地域イノベーション創出に向けた実践的教育研究推進プログラム
お問合せ:鳥取大学地域学部舞踊・身体表現研究室 saiko@tottori-u.ac.jp

お申し込み方法 グーグルフォームに必要事項を記入してください。

